

令和6年度 事業報告書

特定非営利活動法人 くすの木自然館

1. 事業の方針

令和 5 年度に、まったく手を付けられなかった「自主事業」及び行政委託や助成金でない収益を増やすことに力を入れる予定であったが、ツアースキルを持ったスタッフが5月～6月に退職し、ツアー等を行うことができなかった。スタッフ不足により、いつでも受け入れられるツアーの在り方だけでなく、各スタッフが個人のスキルを活かしたイベントなども行えず、認知度と収益を上げることはかなわなかった。令和 5 年度に行った「重富海岸」及び自然体験のユニバーサルデザイン化の知識を元に、他地域にも「どんな人でも楽しめる国立公園」や「どんな人でも楽しめる自然体験」を普及していくための事業は実施できた。

【主な活動】

- 「重富海岸自然ふれあい館 なぎさミュージアム」委託管理
国立公園重要園地「重富海岸」に建設された「展示施設」の委託管理運営の事業。
他館や他イベントなどと協働した展示を増やした。
- 鹿児島県共生・協働センター運営委託事業
テナラボ、及び鹿児島県と共に行う「鹿児島県共生・協働センター」の運営委託管理事業。
- 海の学びミュージアムサポート助成 屋久島ユニバーサルビーチ構築事業
令和5年度のどのような人でも「海の学び」としての体験学習ができる体制を構築した事業を元に、屋久島にもユニバーサルビーチを普及した（R7 年 5 月終了助成）。
また、重富海岸でもユニバーサルビーチの体験及びサポーターの育成を進めた。
- 国立公園のユニバーサルデザイン化研修事業
環境省からの委託事業。国立公園内にて事業に従事する方において、ユニバーサルデザインの考え方やどんな人でも楽しめる国立公園を作る考え方を持てる人を育成するハンドブックを作成した。
- 4 園館合同企画 子ども環境フォーラム「鹿児島子ども環境リーダー育成塾」
「かごしま水族館」「平川動物公園」「かごしま環境未来館」と共に、一つのテーマで特別展や講座を行った。鹿児島市の子ども環境フォーラムの予算をえて、全体統括として実施した。
- 企業と連携して行う自然体験事業
トヨタソーシャルフェス、甲突川リバーフェスなどを実施した。
- 桜島・錦江湾ジオパーク編成における事務局との様々な協力
ジオパークの審査の年に向けて、事務局と連携し、始良市ならではのジオパークの魅力を伝えた。結果として、11月に再認定された。
- セブンの海の森 連携協定事業
環境省からの要望により、今年は「生物多様性」を理解できる方法で実施した。始良市への協力については令和7年度に実施予定。
- 屋久島の水圏生物調査
R4 年度に行った水圏生物調査人材育成事業の後継事業。前回事業の調査員と2年越しの調査を行った。
- 自然大満喫ツアー（主催）
ツアーを実施できるスタッフが2名しかいなかったことにより、まったく実施できなかった。
- 講座、物販（主催）
R5 年度末に図鑑を作成したことから、ネットショップを構築した。物販としての売り上げ増となった。
- 計画にはなかったが、国立公園のガストロノミーに関する執筆の事業を受託した。